



図書館マージャー新聞

2018年9月11日

復刊第57号

若松商業高等学校



おすすめ本

お仕事小説の コーナーができました!!

9月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 <small>2年時 インターシップ</small>	5	6	7	8
9 <small>金商乗換</small>	10	11	12	13	14	15
16	17 <small>敬老の日</small>	18	19	20	21	22
23 <small>秋分の日</small>	24 <small>振替休日</small>	25	26 <small>全商乗換</small>	27 <small>中間考査</small>	28	29

9月



読書の秋
もうすぐ...

☆ 図書委員のおすすめ ↓ ↓

『あたりまえの工』
氏田雄介 著

「君の前で息を止めると呼吸が止まらなくなる、アテマウよ」一見、このよく見えるが、実際、それはそうだが、あたりまえの工か、と思う、そんな、このよく見えるがあたりまえの工の、この工の、この工の、この工の、しかしあたりまえの工と再認識し、行動がでるような本である。読むと何の工とすることができる。 3-1 図書委員

シルバー
カーブ

特別貸出の
お知らせ

📖 9/10(月) ~ 9/20(木)の10日間
📖 貸出冊数無制限 &
📖 返却日延長(1/5(金)まで)
📖 となります。ぜひご利用ください。

『働くことを考えはじめたとき読む本』
有川真由美 著

人間はなぜ働くのかと考えると、複雑になってしまう。高校生は将来のことを考える時期であり、不透明な未来に向かおうとしている時期です。この本は、大人になる上で働く意味を改めて考え、約2ページほどの事柄が書いてあり、私は読んでいて、とても分かりやすかったです。働いてお金を稼ぐことは大事ですが、人は楽しむためにあります。考え方を変わる本の中にあります。

3-5 図書委員

『僕はロボットごしの君に恋をする』

山田悠介 著

この作品は「リアル鬼ごっこ」などで有名な山田悠介さんの作品です。タイトルを見てSF風の作品かと思いますが、読んでみるとSFの世界観でありながら、それ以上に人の心情や人間関係などが深く書かれている作品でした。若い内に読んで良かったと思います。今回、僕は初めて山田悠介さんの作品を読みましたが、他の作品にも手を出してみたいかな、それぐらい印象深い作品でした。

3-5 図書委員

